



「学び多き高校生活」

滋賀県立日野高等学校 三年 崎谷 彩

私は高校に入学する前から高校では野球部のマネージャーをしたいと思っていました。

小さい頃から家族と野球観戦に行ったり甲子園に行ったりして野球が好きになり、中学では野球部のマネージャーというものはなく、野球に1番近いソフトボール部に入部し野球の細かいルールも覚えました。

そして日野高校への入学が決まり、春休みから野球部の見学に何度か行きました。そこで私は改めて野球部のマネージャーをしたい。野球部にとって少しでも役に立てる、チームにとってプラスになるマネージャーになりたい、とたくさんの思いが芽生えました。

野球部のマネージャーというものは決して楽なものではありません。大変なことも沢山あります。少しマネージャーの事についてお話します。主に選手のサポートなのですが倉庫に掃き掃除や拭き掃除、毎日軽食のおにぎり作り、ボール入れ、ボール巻き、洗い物、水分作り、試合準備、夏休みは、グラウンドや周りの草むしりを一日中したり、冬は選手のかじかんだ手を温める焚き火を朝誰よりも早く来て焚いたりします。マネー

ジャーが私一人のときがあり、本当に大変で精神的にも辛い時期があったり、選手と上手いかわかない日もありました。でも、それでもマネージャーでいたいと思ったのは頑張る選手達の姿です。そして「ありがとう」の言葉が嬉しかったからです。私は何度も選手達から元気や感動をもらいました。支える立場なのに逆に支えられている時もありました。そして私は三年になり最後の夏が終わり引退となりました。

二年半マネージャーをしてきた私は野球や部活の事以外にも大人に必要な常識などを学ぶことができました。マネージャーの私は練習試合などがあつた時、相手高の監督さんや目上の方、保護者の方と話す機会が多くあり、私はそこで敬語を丁寧に使い、話す事が自然にできるようになりました。又、挨拶の仕方や礼儀の正しさなども学びました。そして、二年半どんなにしんどくても辛くても辞めずに最後までやり通した強い忍耐力も得る事ができました。マネージャーという位置は指導者との間であり、選手と話したりした事と、指導者の方と話した事や頭の中で整理し、考え、こういう時はこのような言葉を選手とコミュニケーションをとる事もありました。私はマネージャーをしてきて本当にたくさんの事を学びました。

引退した後、私は三年なので進路について自分や家族と向き合い考えました。そして就職する事に決めました。人と話したり、人の笑顔を見

たりする事が好きな私は中学の頃から将来は接客業や販売業に就きたい
とっていました。学校に来ている色々な求人票を拝見し行きたいと思
う会社が決まりました。私はこの会社から内定をもらうために必死にな
りました。夏休みには何度も補習に行き、面接の練習もたくさんしてき
ました。実際に専門の面接官の方と練習する機会もありました。夏休
みが明けてからは担任の先生とも何度も面接練習をしたり、適正検
査というものにも知識を得ようと本を買って勉強しました。そして試験
前日、良い緊張感を持ち、練習通りに自分らしく面接できるようにと意
識し、試験当日を迎えました。筆記試験が終わり、面接試験が始まり私
の順番がやってきて面接室へむかいました。もうその時は緊張しすぎて
いて焦りました。しかし入室し面接が始まるといつも通りの明るさと笑
顔でスムーズに面接を終える事ができました。

九人中三人しか内定がもらえないという中で私は本当にどうなるかわ
からなくて、不安でいっぱいでした。でも面接では面接官の方からお褒
めの言葉を頂き、最高の面接ができた、やり切った感がすごくありました。
自分でも満足のいく面接ができたので、これでもし落ちたととしてもそ
れはこの会社に縁がなかったと思うっていました。

そして四日後結果が届きました。先生から渡された紙には内定と書い
てあり私は本当に嬉しくて泣きそうになりました。今まで頑張ってきて

本当に良かったと思いました。

私が就職の内定をいただいた会社は、株式会社たねや です。販売
業なのでお客様に接客する時、笑顔を忘れず商品の説明をわかりやす
く話し、一人でも多くのお客様に、笑顔で帰っていただけるよう、又こ
のお店に来たいと思ってももらえるような最高の接客をしたいと思いま
す。これからの人生、まだまだ経験した事がないこともあると思います。
ですがそんな時はあの忘れられない野球部のみんなと過ごした日々や楽
しかった高校生活の事を思い出し一歩ずつ前へ進み、一人前の大人にな
りたいと思います。本当に高校生活を通してたくさんのお話を学びまし
た。今回このような青少年意見発表大会に参加させていただき、私の話を聞
いてくださり本当にありがとうございます。これで私の発表を終わ
ります。

